

連携先世界遺産：賀茂別雷神社（上賀茂神社）

本科目が取り組んだ課題・改善事項

7月24日(日)「賀茂の水まつり」の活性化 「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」

■受講生

梶原 健士郎（京都学園大学・経営・3回生）、熊野 葵（佛教大学・歴史・3回生）、佐久間 結女（京都産業大学・法・3回生）、杉村 朋美（京都産業大学・外国語・3回生）、下畑 佑介（佛教大学・社会・3回生）、大同 真奈美（佛教大学・歴史・3回生）、藤本 佳代（同志社大学・経済・3回生）、升山 顕耀（立命館大学・文・4回生） 以上8名

■担当教員 若松 正志（京都産業大学・文化学部・教授）

活動目的・概要

賀茂別雷神社（上賀茂神社）から提示された課題は、「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」こと。具体的には、昨年からの継続で、神社の比較的新しい行事である7月第4日曜日（今年は7月24日）開催の「水まつり」活性化のアイデアを出し、実際に行うことでした。

メンバー（受講生）は、4月中旬から5月にかけて、葵桂の奉製などの上賀茂神社の行事に自主的に関わり、その伝統や文化にふれ、アイデアを練りました。流し素麺、かき氷、落語・劇・よさこい演舞・音楽の奉納、お茶席、SNSの活用など、いろいろなアイデアを出し、先輩（1期生）にも相談し、神社や関係部署（保健所・消防など）とも調整し、準備を進めました。

これ以外にも、玉串奉納をさせてもらい、絵馬神輿もかつぎました。反省すべき点はいくつかありますが、流し素麺やかき氷、お茶席、パフォーマンス奉納など、外部団体の協力をえながら多くのイベントを企画・実施でき、「水まつり」を盛り上げられたこと、そして私たちが成長できたことが大きな成果だと思います。



流し素麺



玉串奉納



絵馬神輿

◆主な活動

- 2016. 4. 16 ガイダンス・上賀茂神社の概要(キ京)、上賀茂神社訪問・うちあわせ(神社)
- 2016. 4~5 上賀茂神社の諸行事(葵祭など)に参加・見学(神社など)〈自主活動〉
- 2016. 5. 7 インタビュー・トレ、mtg(企画相談。キ京)
- 2016. 5. 23 全体オリエンテーション、mtg(企画相談。キ京)
- 2016. 6. 11 mtg(企画相談。キ京)
- 2016. 6. 12 mtg(企画提案。神社)
- 2016. 6. 25 mtg(企画相談・提案。神社)
- 2016. 7. 9 mtg(最終確認など。神社ほか)

- 2016. 7. 21 竹取(ライトアップ用。神社)
- 2016. 7. 23 水まつり前日準備(神社)
- 2016. 7. 24 水まつり(神社)
- 2016. 8~9 上賀茂神社の諸行事(観月祭など)に参加・見学(神社など)〈自主活動〉
- 2016. 9. 24 mtg(反省会、今後に向けて。キ京)
- 2016. 10. 29 mtg(発表準備)、プレゼン・トレ(キ京)
- 2016. 11. 19 mtg(発表準備)(京産大むすびわざ館)
- 2016. 12. 11 成果発表(キ京)

*キ京=キャンパスプラザ京都。トレ=トレーニング。
mtg=ミーティング。プレゼン=プレゼンテーション。

活動の成果

水まつり

「水まつり」の活性化に関して、広報など間接的な取り組みと、当日のイベントの企画・実施という直接的な取り組みを行いました。

広報に関しては、ポスター・ちらしの作成・掲示、SNS（ツイッター、Facebook）を使った宣伝を行いました。イベントが確定するまでに時間がかかり、十分な効果が得られなかったことが反省点です。しかし、SNSは活動ごとに近況報告を随時行ったので、昨年と比べ閲覧数やフォロワー数が大幅に増えたことから、効果が得られたと考えます。

「水まつり」当日のイベントについては、当日午前中から「上賀茂手づくり市」が神社で行われ多くの来場者が見込めること、中心となる神事は夕方に行われること、これらをふまえ、参加者層を意識して、いろいろなアイデアを出しあいました。その結果、流し素麺、かき氷、落語・劇・よさこい演舞・音楽の奉納、お茶席、ライトアップを行うことにしました。

流し素麺は、昨年も行い、好評だった企画です。今回も、神社・保健所・消防署などと調整し、「世界流しそうめん教会」のご協力（素麺を流す竹や素麺の運搬に関する道具類の用意、素麺を流す技術など）を得て実施し、156人（親子連れ、学生、外国人など）に楽しんでいただきました。

かき氷は、京都産業大学卒業生の竹村知紘さん（竹村かき氷研究所）のご協力（道具・シロップなどの提供、技術指導など）を得て、実施できました。「水まつり」ということで、水に関連する企画を行おうと、今回依頼しました。270人に食べていただきました。

お茶席は、昨年に引き続き、表千家の佐々木宗聖先生の全面的なご協力（茶道具の提供、技術指導など）を得て、実施することができました。また和束町のお茶農家からは、茶葉を提供いただきました。神社の「神山湧水」を使い、68人に冷たい抹茶と和菓子を味わう機会を提供できました。

パフォーマンス奉納は、大学生と世界遺産をつなげることを意識し、いくつかの大学のサークルに出演を依頼しました。神社が依頼した地元のグループとともに、午前中から夕方まで、落語や劇や踊りや音楽など、それぞれのパフォーマンスを奉納し（複数回実施いただいたグループもあり）、神事につなげました。

絵馬神輿は、京都産業大学のボランティアサークルのひとつが中心となって行ってきた企画ですが、引き継ぎが十分でなく、大きな問題が生じました。私たちは、できる範囲で対応を考え、卒業生もふくむメンバー数名が絵馬神輿をかつぎ、新宮神社から境内の外の藤木社まで行き、橋殿・ならの小川に戻ってきて、「水まつり」を盛り上げました。

さらに、神社のご厚意で、重要な神事である玉串奉奠を、私たちのクラスの代表がつとめさせていただきました。

また、夜には、竹を切って作った照明で、ライトアップを実施しました。

このように、昨年より多くのイベントを企画・実施し、「水まつり」を盛り上げることができました。



かき氷



お茶席



ライトアップ

活動を振り返って

「水まつり」を終え、感じた点・考えた点について記します。

まず、問題点から。そもそも「水まつり」とはどのような神事なのか、という点を、最初にきちんと押さえるべきだったと思います。

授業開始から「水まつり」当日までは3か月しかなく、準備期間はやはり短かったです。受講生が複数の大学にわたるので、授業時間以外に、LINEなども使いましたが、情報共有が十分でなく、企画の立案・意見交換も遅れがちになりました。もう少し、連絡を密にし、各自が積極的に活動できたら良かったと思います。また、事後の片付け（清掃）などについても問題を残しました。

「水まつり」の企画については、昨年のを大いに参考にしました。課題・反省点などを先輩（1期生）から直接聞く機会も作り、当日にも協力いただきましたが、事前準備が不足していた面がいろいろ見られました。しかし、昨年度とは違う新たな企画や様々な改善もできたと思います。

そして、①SNSでの活動を通して、「水まつり」だけでなく、当初の課題である、上賀茂神社の情報・魅力を発信できたこと、②当日のイベントを通して、水まつりの神事までの時間を十分楽しむ機会を提供できたこと、③地域（地元）の人や学生をイベントに巻き込めたことなどが、大きな成果だと思います。

なお、企画・広報にあたっては、上賀茂神社をはじめ、「世界流しそうめん協会」、竹村知紘さん（かき氷）、佐々木宗聖先生（お茶席）、大学のサークル（落語、劇、よさこい）、大学（備品の借用など）、このクラスの1期生、若松先生のゼミ、所属大学事務、コンソーシアム京都事務局などにお世話になりました。ご協力に感謝するとともに、このような関係を通して、多くのイベントを実施できたことは、私たちにとって良い経験になったと思います。

そして、これらの活動を通して、上賀茂神社との信頼関係を築けたこと、世界遺産である上賀茂神社を、身近で大切な存在として再認識できたことも、大きな成果です。

担当教員からのコメント

若松 正志（京都産業大学文化学部教授）

京都の世界遺産PBLは、今年が2年目。私のクラスは、昨年に引き続き、賀茂別雷神社（上賀茂神社）からいただいた、「水まつり」の活性化という課題に取り組みました。1期生数名にもとどころ協力いただきましたが、基本的には新しい学生たち（2期生）が取り組みました。

私（担当教員）にとっては、「1期生が昨年「一から作った企画（成果）」を、課題もふくめ、どのように発展（・改善）させられるか」も意識しました。そこで、最初に昨年度の活動を紹介し、これを参考にしつつも、いろいろな企画を考え、検討し、実施するよう指導しました。以後、授業としては、およそ2週間に1回のペースで、キャンパスプラザ京都・上賀茂神社などに集まり、「水まつり」の活性化に関して、継続する企画、新企画・改善点などを提案・議論・検討・相談・調整・準備しました。当初設定した授業時間以外にも、LINE等による情報交換を行い、また葵桂の奉製、お茶のお稽古、竹取（ライトアップ用の竹の伐採、加工）などを行いました。学生たちは、楽しみながら、それらに取り組んでいました。そして、1期生や佐々木先生など、昨年関わった方にもご意見をうかがい、徐々に企画を固めていきました。しかし、連絡・確認が不十分だったものもあり、準備不足、情報共有不足という点も、いくらか残りました。このあたりは、昨年も感じた、教員としての関与の程度の問題でもあります。作業に関しては、かなりサポートしたつもりですが、もう少し口出ししてもよかったかなと思っています。

ただ、今年の学生たちも、この活動を通して、間違いなく成長したと思いますし、神社との信頼関係も一層深いものになったと思います。私としては、学生たちの今後のさらなる成長・活躍を期待するとともに、「水まつり」の活性化に関して、スタンプラリーやキャラクターの活用などアイディアどまりに終わった点も含め、さらに追究していきたいと思っています。

活動資料



2016/04/16 初回うちあわせ
(於上賀茂神社)



2016/06/25 1期生を迎えての
うちあわせ(於上賀茂神社)



2016/07/09 お茶のお稽古
(於佐々木先生宅)



2016/07/21 ライトアップ用竹切り
(於上賀茂神社)



↑ 第一弾ポスター

↓ 第二弾ポスター



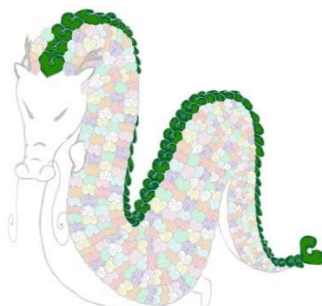
文教大 文舞乱(よさこい)



京産大 落語長屋 (落語)



佛教大 劇団紫(劇)



← 今回考えた水まつりのキャラクター